

ikeeco

“住む人が主役の家づくり”に、もっとファンを！

2015
Vol.22



施工事例：(上)K'z HOME(愛知県半田市) 内・外壁：カルクウォール (下)株式会社ヴァルト(長野県長野市) 外壁：カルクファサード



We Love Natural Life!

愛知県半田市 | K'z HOME

愛知県半田市を拠点に、100年後も愛される家づくりを目指し、天然素材を活用した高性能住宅を実現するK'z HOME(ケーズホーム)。冬場の断熱性はもとより、愛知県内という比較的温暖な環境に合わせ夏場の断熱も考えた家づくりが特徴です。住まい手の快適性と健康を第一に考え、室内の温熱環境にはとことんこだわっています。そんなケーズホームの高性能住宅の取り組み方や課題、家づくりの理念について加藤社長にお話し頂きました。



性能だけでなく、デザイン性にも優れた佇まい。外壁：カルクファサード



湿度をコントロールするとは

「K'z HOMEの標準的なプランでの外壁は、充填断熱としてセルロースファイバー100mm、その外側に木質断熱60mmを施して160mmの厚さを確保しています。比較的温暖なこの地域では冬の暖房は問題ないレベルに仕上がっていると考えています。高気密住宅をつくるとなると部屋の内側に気密シートを貼って壁の中に湿気を通さずに壁内の結露を防ぐという考えが一般的にありますが、弊社では、昔からある日本の蔵の構造を再現して仕上げれば、100年以上快適に住まい続けられる住宅になると考えています。ご存じの通り蔵には、土壁の外と内に漆喰を使い、湿気を行き来させながら、躯体自体を長持ちさせていますよね。自然素材だけを使うと簡単な事でも、新建材を使い、断熱性や気密性を持たせた現代の家づくりには、結露という大きな問題があります。壁内結露もそうですし、たとえば、暖房の場合は湿気があると暖かく感じるが、冷房の場合は温度を低くしても湿度があると涼しさをあまり感じない。逆に湿度を低くしてあげれば、温度をそれほど下げなくても涼しさを感じることが出来ますよね。湿気を正しくコントロールすることは住宅だけでなく、住まう人の快適性や健康面にも大きな影響を及ぼしています。」



外壁にはセルロースファイバーの充填断熱と木質断熱材

住宅性能水準の現実

「私が高性能な家づくりに取り組むきっかけになったのは、25年程前、初めて自分の設計で自分の家を建てた際、「暑いと寒いがこうも問題になるのか。」と思い知らされた時です。その頃も全館冷暖房を考えてオープンなつくりにしたのですが、光熱費が異常なほど高くなってしまったという苦い思い出があります。同じ頃、アメリカの住宅事情を見る機会があり何十棟もの住宅を視察させて頂きました。その時、我が家と同じような全館空調の住宅でも光熱費が抑えられるという事実を知りました。20年以上も前でしたがサッシは樹脂製low-eペアガラスを使用し、建物全体をきちんと断熱することで光熱費が抑えられ、エコロジーな住宅が建てられると理解できたのです。」

自然素材を感じるナチュラルな室内





半田市岩滑西町にある「ファームレストラン黒牛の里」(店舗物件)もK'z HOMEの施工。基礎断熱はもとより、ペアガラスの木製サッシ、石材とスイス漆喰「カルクウォール」の取り合わせ、等等。100年後も愛される家のノウハウを注ぎこんだ素敵な佇まいです。落ち着いた店内はとっても快適です。

家全体の温熱環境を整えること

「日本では、昔から部屋ごとにエアコンを設置し、暖房するという考えが根付いています。しかし、それが原因で住宅にはヒートショックという大きな問題を引き起こしています。交通事故で亡くなる人が年間 約4千人に対し、入浴中に亡くなる人が約1万7千人です。さらに、後遺症が残る方など負傷者の人数を考えるとこの何倍にも及びますよね。これらヒートショックの対策としても、家全体の温熱環境はとても大切なことです。また、建物全体に均一な断熱性と気密性を備えれば、室内の温度や湿度の数値もつかみやすく、コントロールもしやすくなります。」

自分が住みたい家をつくり続ける

「K'z HOMEが断熱・気密にこだわる住宅に取り組むようになるまで、アメリカ住宅の視察から10年間の準備期間が必要でした。国内では入手できない物や、法律上の問題、コストと性能(=どこまでやるか)の問題、特に全館空調システムには納得できるものが国内には無いということです。それは今現在も変わりませんが…。

家づくりにおいては、お客様に迷惑をかけることは一切出来ません。その為には、新しいことは自分たちのできる範囲内で一つひとつ工夫をしながらやっていくこと。そして、自分が住みたいと思える家をつくり続けていくことだと考えています。」



K'z HOME

K'z HOME

代表取締役 加藤 計元

〒475-0903

愛知県半田市出口町1-211-19

MTTビル1F

TEL 0569-25-0017

<http://kz-home.jp/>



We Love Natural Life!

長野市 | 株式会社ヴァルト

長野市を拠点に高性能住宅(高気密・高断熱)に先駆けて取り組む株式会社ヴァルト。

人と環境に優しい家づくりを大切に、ドイツ基準の高性能住宅を目指すトップランナーです。断熱性や気密性、何より住まう人の快適性を考えて、使用する素材や建材もトップクラスのものばかり。

今回は、国が掲げる低炭素住宅そして、ゼロ・エネルギー住宅を見据えた高性能な家づくりの考え方について小野社長にお話し頂きました。



展示場に採用頂いた外壁は、新商品 外壁専用のスイス漆喰「カルクファサード」。スイスの石灰石を主成分に外壁への施工性とコストバランスを両立したスイス漆喰です。呼吸する外壁素材として、夏涼しく、冬暖かい家づくりに役立ちます。

呼吸するサステナビリティな展示場

「この大豆島展示場は、2015年4月にリニューアルし、「パッシブハウス研究所」が規定する性能基準を満たす断熱・気密強化・熱橋対策・高効率換気システムを施した、エネルギーコストと建築コストのバランスを考慮した省エネ建物です。この展示場の改修では140mmの既存の外壁の外側に、さらに木質断熱材を100mm施し、屋根には低密度の木質断熱材を140mmと、高密度の木質断熱材160mmを合わせ、新しく300mm断熱の屋根につくり替えています。また、サッシは樹脂製トリプルサッシ(ドイツ製)の高性能なサッシを採用することで気密性と高い断熱性を実現しています。」



「木質断熱材を使用するメリットは、生産に必要とするエネルギーコストが低いことと、高い熱容量により夏の暑さを緩和できること、そして気密性を保ちながら透湿性を損なわないことです。ヴァルトでは、呼吸する住宅に取り組みBreathability(プレサビリティ)の考えを実践しています。古来の日本住宅のような木と土でできた住宅が何百年と維持できているように、内壁から外壁まで透湿性のある素材のみを採用することで、長期的で且つサステナビリティな住宅を目指しています。」



木質断熱材(スイス製)。施工はサネにより接合するため、断熱欠損を最小限に抑える構造。



ビスを打ち込んでも水の浸入を防ぐ防水シール(ブルーの部分)。欧州にはこういった細かなところにも配慮した部材が揃う。



トリプルのシーリングで高い気密性と遮音性を誇る。U値は0.77~(ドイツ製)



住まい手にとって快適な室内

「展示場の温熱環境は、第一種全熱交換型換気システムを導入し、暖房は蓄熱型薪ストーブが1台と、冷水や温水を循環させ冷房や暖房に使える冷暖房パネルヒーターを設置しています。いずれも輻射による冷暖房を採用することで体を感じる負担や不快感を軽減しています。熱交換型換気システムから放出される風も人体にはほとんど空気の流れを感じることがなく、冬場の設定温度が低くても快適な室内環境を実現しています。

太陽光発電を行いながら省エネルギーやゼロ・エネルギー（ZEH対応）の実現だけを考えるなら、断熱性能が多少低くても、太陽光発電をたくさん設置することでZEH対応の住宅は可能です。しかし、私たちが考える家づくりのカタチは、自然素材にこだわりながらドイツ仕様のゼロ・エネルギー住宅を目指すというものです。」



デザイン性にこだわり梁や垂木はあらわしに。

夏場は冷水を循環させ、冬場は温水を循環させるパネルヒーター



デザイン性のある外観「顔のある住宅」を目指している。

顔のある住宅

「しかし、いくら高性能な家を建ててもそれだけではお客様も注目してくれません。まず、デザイン性を高める事。私たちは顔のある住宅を目指し、その為には手間を惜しみません。天井の梁や垂木はあらわしに、天井の板張りも一枚一枚張っています。その為、屋根の断熱材も天井裏の一面では無く、切り妻の形につける必要があります。そうする事で、無垢の木の温かさを感じながら、



室内全体を広く見せる事が出来るのです。また、高い断熱性能は夏場でも部屋の1階と2階の気温の差を1℃程度に抑えて、家全体を均一な温度に整えてくれるので、快適で居心地のいい住空間となります。

「住まい手にとっての快適性と健康を第一に、機能性・コスト・デザインをバランス良く考えた家づくりを目指しています。」



株式会社 ヴァルト

代表取締役 小野 治

〒381-0022
長野市大豆島5215-1
TEL 026-268-4355
<http://wald-inc.jp/>



断熱性・気密性をもつ高性能な住宅に取り組むには、サッシの性能や換気システム等のハードの問題、コストと性能のバランス、何より温熱環境と湿度コントロールの問題など、大きな課題が山積みです。しかし、2020年目途に進む新築住宅の省エネ基準適合義務化の波は、ゆっくりとしかし着実に近づいてきています。

高性能住宅が単に、エネルギー消費量の削減を目指したものだけではなく、しっかりと住まい手に目を向け安全で健康な家づくりとして広がっていけばいいですね。



掲載雑誌紹介

Come home! Vol.41

(主婦と生活社)

狭いアパート住まいのころから「いつか子どもが思いっきり走りまわれる家を」と思い描いてきたご夫婦。そんな夢をかなえた、こだわりいっぱいの住まいがご紹介されています。

【設計・施工】
アズ・コンストラクション
大分県大分市大字津守490-45
URL <http://www.az-c.jp>

ライフスタイル誌
8月20日
発売

**付録小冊子
Sweet home!**

木と漆喰の家の心豊かな暮らし。

自然素材の住宅はほんの少し手がかかる。しかし、手間をかける度に味わい深く、未来へ紡ぐ家族の財産となる。そんな、スイス漆喰で仕上げた3家族の暮らし方がご紹介されています。



日経アーキテクチャ

(日経BP社)

木材活用フォーラム 2015

2015年10月21日(水) 目黒雅叙園(東京目黒)にて日経BPインフラ総合研究所主催による「木材活用フォーラム2015」が開催されました。

木材を建築に取り入れるための技術や知識、また木材を使うことでの魅力、可能性を発信するイベント。各種セミナーもあり大盛況です!



専門紙
9月15日
発売

私のカントリー Autumn No.94

(主婦と生活社)

私のカントリーフェスタ in 清里2015 GUIDE BOOK

インテリア誌
9月24日
発売

10月24日(土)・25日(日)の2日間、全国の有名ショップがカントリーの聖地 清里に集まりました。山の方ではうっすらと紅葉も始まり、おでかけにはぴったりの季節ですね。今年もSelf remakeのサポーターショップ ナチュラワイズさん(東京)とコラボ出店です。塗り壁講習会やスイス漆喰のミニチュアハウスのワークショップも大好評!



イベント情報



2015
11/18
wed

2015
11/20
fri

東京ビッグサイト 東ホール

第37回 ジャパンホームショー

37回目の開催となるジャパンホームショー2015。全国から建築のための建材・部材・設備・サービスが一堂に集まる専門展示会です。イケダコーポレーションでは「ひとと環境にやさしいエコロジックな家づくり」の観点から、後世まで住まい継げる家づくりをキーワードに、天然スイス漆喰、リボス自然健康塗料、オガファーザーを展示出展いたします。是非ご来場ください。

セミナー情報

2016 Jan

**ドイツフラウンホーファー
建築物理研究所 来日公演
Bigセミナー2016**



Daniel Zirkebach氏

Tokyo
2016.01.13 WED

Osaka
2016.01.15 FRI



田中 絵梨氏



西方 里見氏

ドイツ フラウンホーファー建築物理研究所の熱・湿気部門に所属する研究員をお招きし、1月の2日間 東京・大阪の2都市においてBigセミナーを開催致します。家づくりには欠かせない温熱環境と湿気のコントロールについて、ドイツの研究所の学術的な観点と、実際にドイツの高性能な家づくりを実践されている西方設計 代表 西方里見先生から実務に繋がるお話をさせて頂きます。

お申込みお待ちしております!



商品紹介

**リボスケアセット
No.588-18**



ポリッシュオイル ドライアデンNo.560 と中性クリーナー トレナNo.556がセットになったメンテナンスキットです。今回はクリーナー トレナのご使用方法についてご紹介いたします!

- ◆トレナは水で100倍に希釈して使用します。
- ① まずはウエス(布)に染み込ませて雑巾がけ。
- ② それでも汚れが気になるところは付属の研磨スポンジで研磨。研磨した周りもほかすようにして。
- ③ 余分な汚れをきれいなウエスで拭き取ります。



この情報誌に関するお問い合わせ
資料・サンプル請求は

株式会社
iskeda イケダコーポレーション

0120-544-453

仙台・東京・名古屋・大阪・福岡

〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島4丁目8-28 FJビル3F
TEL.06-6452-9377 FAX.06-6452-9378

〒104-0045 東京都中央区築地7丁目10-2 築地小川ビル4F
TEL.03-3544-4453 FAX.03-3544-4450

<http://www.iskcorp.com>

E-mail info@iskcorp.com

